

授業科目	リハビリテーション概論				
担当者	井上悟（実務経験者）				
実務経験者の概要	担当者は30年間大学病院での臨床経験があり、急性期病院におけるリハビリテーション医療の実際の経験がある。				
学科名	理学療法学専攻	学 年	1 年	総単位数	1 単位
	作業療法学専攻	開講時期	前期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

リハビリという言葉は、一般社会でも非常によく使われるようになった。通常、疾病や外傷によって生じた障害に対する機能回復のための治療・訓練として用いられてきている。しかし、この解釈は、リハビリテーションの中の極めて狭い領域を示しているに過ぎない。リハビリテーション本来の理念を歴史的背景を含め紹介する。

## ■ 到達目標

リハビリテーション (rehabilitation) を正しく理解する。正しい知識をもって、リハビリテーション医療の対象や現状、各専門職の役割について知る。

## ■ 授業計画

- 第1回 リハビリテーションとは？（講義オリエンテーション含）
- 第2回 リハビリテーションの概念・理念・定義
- 第3回 健康・疾病・障害の概念と分類
- 第4回 障害論（国際障害分類、国際生活機能分類）
- 第5回 廃用症候群とは
- 第6回 障害の心理と障害受容
- 第7回 リハビリテーションの過程（評価とは？ 評価学の重要性）
- 第8回 リハビリテーションの諸段階1：医学的・職業的リハビリテーション
- 第9回 リハビリテーションの諸段階2：社会的・教育的リハビリテーション
- 第10回 医療とリハビリテーションに関わる諸問題
- 第11回 チーム・アプローチ（リハ専門職の役割、評価と記録の重要性）
- 第12回 ADL,QOL の概念と評価法
- 第13回 地域リハビリテーションと高齢者対策
- 第14回 リハビリテーションを支える社会保障制度と法律1
- 第15回 リハビリテーションを支える社会保障制度と法律2

## ■ 評価方法

【科目試験（筆記試験またはレポート）】 70%、授業態度 30%で総合評価します。

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

毎授業前には、教科書の授業該当範囲を予習しておくこと

## ■ 教科書

書 名：リハビリテーション概論（第3版）  
 著者名：上好秋孝・田島文博  
 出版社：永井書店，2014年（最新版で）,3000円税別

## ■ 参考図書

## ■ 留意事項

指定の教科書は後期開講のリハビリテーション医学の参考書として利用可能。各回の講義テーマ、内容については関連する講義の進捗状況により変更することがあります。

## ■ 講義受講にあたって